

# ☆リサイクルセンターたより☆

「暑いですね！」が合言葉だった夏も終わりに近づき、さわやかな天気待ち遠しいですね。ここ数年前より梅雨から夏にかけて日本各地で想像を上回る集中豪雨により、各地で甚大なる被害が発生し、人命が脅かされて、いつどこで起きてもおかしくない状況に、日本全体が不安を感じているのではないのでしょうか？ この夏の異変は、8月6日の広島と8月9日の長崎の原爆投下の日、慰霊式典をテレビの画面で見て、台風の影響を受け雨模様の中の式典は、例年と違って稀な光景に思われた方もいらっしゃるかと思います。原爆投下当日も青空の炎天下だったと聞いております。やはり何か異常を感じざるを得ません。

自然現象は人の力でコントロールはできないのは当然ですが、ちょっと視点を変えれば人災の可能性も無きにしも非ず。とは言っても、いざとなれば、自分の身をどのように守るか、常にシュミレーションが必要だと思います。以前聞いた消防署職員の話で、自助、共助、公助のうち、一番時間がかかるのは公助で、つまり消防、警察等の救助はいつ来るか判らないので、まずは自助でがんばってもらい、次に共助である近隣の町内会で助け合っていたら、その内公助が来るかもしれないです。とのこと。

ラッコハウス近隣の皆様御存知の通り、ラッコハウスは避難指定場所です。いざとなったら皆さん逃げて来て下さい。とにかく、緊急の時どの方向に走り出すかだけでもイメージされたいかがでしょうか？

ラッコハウスでも年2、3回避難訓練を行っております。  
いざという事がないことを祈るばかりです。

## 9月カレンダー

- 6日(土) 富山市民ふれあい広場  
総曲輪グランドプラザにて、  
10:00-15:00
- 7日(日) 資源回収
- 8日(月) 代休

10月の資源回収は、5日(日)の予定です

## 社会福祉法人ラッコハウス

### ラッコハウスをそだてる会事務局

〒939-8003

富山県 富山市 西公文名町 4-17

電話 076-493-0250

FAX 076-493-4441

Eメール raccohouse@pop21.odn.ne.jp

Web http://www2.odn.ne.jp/raccohouse/

みなさまのお声を  
お待ちしております！

## あなたも「ラッコハウスをそだてる会」(後援会)会員に！

ラッコハウスの活動に賛同される方に、ぜひご支援していただけますようお願いいたします。

年会費 ●個人 一口 3,000円 ●団体 一口 5,000円

口座 郵便振替 00730-3-12867 (ラッコハウスをそだてる会)

会員の方には、この機関紙「宇宙」を毎月お送り致します。



No. 312 編集・発行 社会福祉法人ラッコハウス

9 月号

1-2: 実習生とレクリエーション

3: 第三者委員会について

4: リサイクルたより

## 実習生とレクリエーション

富山福祉短期大学 社会福祉学科 介護福祉専攻の学生が2人、7/28(月)～8/9(金)のうち10日間、実習に来ました。



(輪投げゲーム: 左から時計回りに、早坂さん、北川さん(実習)、柏さん(実習)、野末さん)

今年度よりラッコハウスでは、2人の介護福祉士の有資格者をようやく配置することができ、介護の質の向上を目指しております。そして初めて、将来介護福祉士となる学生の実習を受け入れることになりました。

介護福祉士養成カリキュラムに障害者施設での実習も義務付けられたとの事！

高齢者福祉分野に次いで、障害者福祉分野でのスタッフの専門性の向上が期待されています。



(早坂さん、高田さん、副田さん、北川さん、柏さん)

レクリエーションの輪投げのゲーム作りを、アルミ缶や古新聞等を材料に、利用者と一緒に作りました。



(柏さん、谷口さん、小川さん、平邑友美さん)

視覚障害者・聴覚障害者の方々にも楽しんでもらえるよう、輪が入ると鈴の音が出たり、「大当たり」のびっくり表示が出てきたり、いろんな工夫がされています。



金曜日恒例のお茶会に参加し、利用者の方々より手ほどきを受けました。

(←柏さん、藤井さん、北川さん、大野さん)

(↓副田さん、柏さん)



### 【実習を終えての感想】

今回の実習で、ラッコハウスでは人に対して思いやり心配りが行き届いていて、人として成長させられました。そして地域の方々からの理解が得られているからこそラッコハウスは成り立っていると考えさせられました。(柏香菜さん)

今回の実習では不安がたくさんありましたが、利用者みなさん、職員の方が優しくしてくださったので楽しく実習できました。ありがとうございました。(北川幸奈さん)

## ラッコハウス第三者委員会について

戦後長きに渡り、日本の社会福祉は措置制度のもと、行政が対象者の福祉サービス及び利用施設を決めてきましたが、高齢者福祉は2000年の介護保険法、障害者福祉は2006年の支援費制度発足後、契約制度に移行し、対象者自らサービス内容、利用施設、事業所を選ぶことが可能となりました。措置制度時代は、サービス内容や施設の処遇に対し、利用者は「職員に不快に思われないか?」「もう利用できなくなるのではないか?」と考えて、ほとんど要望、意見、苦情が言えませんでした。契約制度になってからは、サービス利用者及び家族から要望、意見、苦情等を遠慮なく施設、事業所に伝えていただき、また言いやすい環境整備をし、それによって施設、事業所のサービス改善、サービスの質の向上につなげていく視点が求められることになりました。各施設、事業所には、苦情受付担当者と苦情解決担当者が配置されておりますが、施設、事業所外の有識者である第三者委員に苦情内容が報告され、常に中立的立場にて客観的に対処していただくことにより、事態の根本解決に向けて円満に解決していただく責務を担っていただきます。

ラッコハウスでは、ようやく8月より月に一回第三者委員会を開くことになり、利用者及び保護者からの、ご要望、ご意見、苦情等を話し合い、今後の対応についての第三者委員よりアドバイスをいただく他、日頃のヒヤリハットの内容を検証することで、事故が起らないよう具体的対応策等の話し合いを始めました。

この内容につきましては、後日まとめてご報告させていただきます。

尚、児童虐待防止法(2000年)高齢者虐待防止法(2006年)に続き障害者虐待防止法(2012年)に施行されました。特に施設内での虐待が疑われる場合、隠密に内部処理することなく公表することも義務付けられております。皆様の期待に沿う施設作りをより一層心がけたいと思います。

### ラッコハウスをそだてる会 後援会通信

#### ■ 8 月 度 新 規 ・ 更 新 会 員

吉村猛様 石黒誠作様 尾花睦子様  
濱田康治・裕子・文栄様 黒田弘様

#### ■ ご寄付をいただきました

【物品】土肥義治様 木村商店様、  
つくしの家射水様 南保啓様 宮崎美佐子様  
以上、8月20日現在、順不同  
どうもありがとうございました。